



月2回刊=1464号  
2016年7月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸九番1号  
岩手県庁内  
岩手県職労労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

## 第24回参議院選挙 県職労推薦候補

# 選挙区 きどぐち英司さん見事初当選



「きどぐち英司」さん 歓喜のバンザイ

### 比例区 「吉田ただとも」善戦も届かず

7月10日参院選の投票が行われ、選挙区では野党統一候補の「きどぐち英司」さんが約33万票を獲得、自民党候補を大きく引き離し見事初当選を果たした。一方、全国比例区では自治労組織内・社民党党首「吉田ただとも」さんが奮闘し、前回を上回る個人票(約15万票)を獲得したものの、社民党全体の獲得票が伸びず議席を失う結果となった。

#### 選挙区のみならず

野党統一候補「きどぐち英司」(52歳・新人)は統一候補としての出馬決定が投票日から50日足らずで支持浸透が課題であった。県職労は比例区「吉田ただとも」と併せて支持拡大を行い組合員等への浸透に全力を挙げた。木戸口さんは、安倍政権が進めるアベノミクスからの経済政策の転換、憲法を護り民主主義を取り戻すと訴え、県内各地で支持を広げた。特に、6月28日には県庁前で野党4党



地元大分で最後の訴えを行なう「吉田ただとも」さん

#### 比例区のみならず

合同街頭演説会を開催。野党4党の党首クラスが支持を訴えた。選挙序盤から自民党候補をややリードする情勢であったが、自民党候補も与党大物幹部を投入し猛追。厳しい選挙戦であったが、組織力で自民党候補に約7万5千票の差をつけ、見事勝利を果たした。

参院選を受けて  
自治労の先頭役として活躍してきた「吉田ただとも」さんの議席を守ることができなかったことは極めて残念だが、選挙区で野党統一候補が勝利し、安倍政権に反撃する議員を送り出したことは一定の成果だ。この成果を足掛かりに当面する人勸闘争をはじめ諸闘争に果敢に取り組み。組合員のご奮闘に改めて感謝します。

### 人事院「配偶者扶養手当見直しを言及 16人勸闘争の争点明らかに

人事院は、5月下旬に16人勸で配偶者の扶養手当の見直しを行うと言及、公務員連絡会にその旨伝達した。政府は、女性の活躍推進及

**熊本地震災害復旧支援カンパ**  
**88万9305円**  
ご協力ありがとうございます。  
熊本県を中心に相次ぐ地震による被災者支援のための「熊本地震災害復旧支援カンパ」へのご協力を呼び掛けたところ、緊急の取り組みにも関わらず多額のご厚意をお寄せいただきました。カンパ金は自治労本部を通じて被災自治体に届けられます。県職労は今後とも、連合や自治労などを通じ被災地復興に向けた支援活動に取り組んでいきます。組合員の皆さんのあたたかいご協力に感謝いたします。

当(月額1万3千円)は、基本給を補完する生活給の一部であり、拙速な見直しは単なる賃下げに過ぎない。また、廃止を契機に家計を支えるために配偶者が仕事に出るも、非正規・低賃金労働者が増えることにつながり、極めて問題ありと指摘せざるを得ない。拙速な制度改悪を許さないためにも、来たる人勸闘争への結果をお祈りする。

### 強まる安倍政権の攻撃に立ち向かう

参院選を受けての闘争課題  
参院選は、安倍自公政権の躍進と改憲勢力が憲法改正の発議要件である3分の2議席を占める野党敗北の結果になった。安倍首相は「国民の信が得られた」として、アベノミクスを加速させるべく大型経済対策に取り組みと表明した。一方で憲法改正に関しては憲法審査会の議論に委ねるとし、明言を避けた。また、「憲法改正」は着実に進める動きだ。これら課題の阻止に向けて、あらゆる闘争に結果していくこ

とが必要である。  
●アベノミクスで格差拡大  
財界は安倍政権の勝利に歓迎の意を示した。アベノミクスの大企業への利益誘導が一層進むためだ。一方、労働者への賃上げはほんのわずかに過ぎず、今後、「女性活躍」の名のもと、配偶者の扶養手当と併せ配偶者控除の廃止を目論んでい。更なる賃金削減により、配偶者が家計維持のため仕

### 第五世代

昨年12月に労働安全衛生法に基づく「ストレスチェック制度」が施行された。50人以上の事業所は毎年ストレスチェックの実施が義務付けられ、精神疾患等で労働者が体調を崩す前に対応する仕組みがつけられた。県の職場では、すでに実施されている。職員安全衛生管理委員会でも県職労選出委員が必要性を訴え、実現させてきた。▼昨年は390人もの職員がストレス要配慮者に該当した。実に20人に一人が高ストレス等の状況に陥っている。そうした状況にもかかわらず産業界等の面談を受けた職員は50人程度しかおらず、職場の課題が放置されたままだ。しかし、当局は、該当者に対して十分な説明や多忙な職場で面談受講ができない現状に対して、十分な対策を講じていない。▼使用者は労働者に対する安全配慮義務がある。しかし、「面談を受けるも受けられない個人の自由」「個別の結果を基に職場に改善を促すのは難しい」という当局の考えでは、ストレスチェックの結果が職場改善に活かされず課題が埋没しかねない。職場体制の問題で体調を崩しても働く職員の自己責任とさせないよう、改善を求めていこう。

職業訓練協議会

職訓協設立40周年記念式典・定期総会・退職者を囲む会を開催

7月2日(土)、清温荘(盛岡市)において職業訓練職員協議会の「設立40周年記念式典」・「第40回定期総会」及び「退職者を囲む会」が開催された。記念式典には、現職はもちろん、OBからの参加もあり、大きな盛り上がりを見せた。



第40回職訓協定期総会

職訓協OB会長近谷会長からは、職訓協の設立の経緯やその当時の職業訓練職場を取り巻く環境などをお話いただき、組合活動の大切さを改めて感じさせられた。今後、50年、60年と永続的に組合活動を進めて行かなければならないと想いを新たにされた。

定期総会では「若年指導員採用」の実現など、職場課題について活発な議論が行われた。さらに、次のおり2016年度の役員体制が承認・確立された。

(事務局・齋藤裕之) 議長 菅原 利之(水沢)



川村浩美支部長

北上支部が新体制を確立

新支部長に川村浩美さん

県職労北上支部は6月24日、今年度の支部役員選挙の結果を公示した。28日には引継ぎ執行委員

会を開催し、川村支部長のもと支部活動をスタートさせた。役職と氏名は次の通り。

- 支部長 川村 浩美(農研センター技術)
副支部長 高橋 司(中央農改・地域G)

- 書記長 福田 清喜(農業大学校)
書記次長 福田 昭義(北上農村整備センター)
執行委員 皆川 光則(岩手県建設業協会)
高橋 拓也(中央農改・東域G)
齋藤 理恵(中央農改・西和賀)
平沢 英利(農研センター・企画管理)
小原 公則(農研センター・技術)
数藤 慶亮(農研センター・環境)
会計監事 村上 由一(土庫センター・西和賀)
和賀 佳子(生工研)

- 副議長 渡邊 雅孝(矢巾)
菅川 清春(水沢)
事務局長 遠藤 俊明(矢巾)
事務局次長 佐々木克幸(矢巾)

- 幹事 鈴木 大輔(三戸)
氏家 亨(矢巾)
高橋 哲子(水沢)
西川 秀樹(千厩)
伊東 善久(宮古)
小澤 正樹(三戸)

- 岩崎 有喜(県庁)
会計監事 佐々木 建(矢巾)
金田麻由美(矢巾)
自治研推進委員長 飯坂 覚(水沢)

欠員解消へ「任期付職員」選考採用枠拡大を!

当局に要請書・支部決議・職場署名を提出

今年度で5年目となる任期付職員を対象に、任期の定めのない職員への選考採用試験が行われている。当局は選考について、採用枠を一般事務6名程度、総合土木若干名とし、審査について教養検査・作文の一次選考、人物検査・身体検査の2次選考を行うことを公表し、第1次を7月10日に実施、9月上旬に採用者を決定する。



要請書を手わたす大崎書記長(左)

県職労は、任期付職員から出された実態や意見、職場の仲間の意見等をもとに、①人員確保・欠員補充のため、②試験結果のみならず、4年間の勤務実績を十分把握した上で判断するものとし、その把握については管理者の評価のみではなく、職場の上司・同僚などからの状況把握を行うなど、多面的な評価とすること。③過去の4年間の勤務実績を十分把握のうえ評価すること、④7月7日に要請書を佐藤人事課総括課長に提出した。併せて11支部から提出があった決議文と大船渡水産振興センター分会で独自に行った要請署名を併せて提出し、職場の声を突き付けた。

佐藤総括課長からは、「優秀な人材がいれば、採用枠を拡大し採用する」「現状の評価のみではなく、過去の勤務実績は確認する」など一定の回答を引き出した。ただ、教養検査の見直しについては、「要望を踏まえ検討したい」との回答にとどまったことから、再考を強く求めた。人員確保は喫緊の課題であり、今後とも職場の声をもとに粘り強く改善を訴えていく。

明日は明日の風が吹く...

だから明日に備えなきゃ!



入院は日帰りからお支払い、ケガのときは通院だけでも保障。組合員同士の助け合いの輪にあなたもぜひ!

お問い合わせ・お申し込みは組合へ

じちろうの団体生命共済

自治労共済本部

岩手県知事 達増 拓也 様

岩手県職員労働組合 中央執行委員長 小野 演彦

任期付職員経験者の選考採用に係る要請書

日頃より県政の推進及び職員の勤務労働条件の改善に努力されている貴職に対し敬意を表します。さて、東日本大震災から5年が経過し、復興事業も最盛期を迎える中、職場では4月現在139人の欠員を抱え、厳しさを増している状況です。加えて、今年度はいわて国体や全国障害者スポーツ大会開催に向け、多数の勤員が予定されており、人員が不足の状況に加え、過重な業務執行が強いられることが予想され、その調整も十分にできない中で職員の負担が増しているのが実態です。こうした状況にもかかわらず、今回実施の岩手県任期付職員経験者職員選考試験に係る採用予定人数があまりにも少なく、職場実態を考慮した採用を行っていないことについて、憤りを感じています。また、任期付職員は岩手県職員としてこれまで4年間業務を遂行した実績を持ち、経験と知識は十分であるにも関わらず、再度教養検査等の試験を行い、職員負担を増すことは行うべきではないと考えます。つきましては、選考採用にあたっては業務経験を有する貴重な人材の確保、来年度に向け確実な人員確保とすため、次の事項について要請しますので、真摯かつ適切な対応をお願いします。

- 1 選考採用にあたっては試験結果のみならず、4年間の勤務実績を十分把握した上で判断するものとし、その把握については管理者の評価のみではなく、職場の上司・同僚などからの状況把握を行うなど、多面的な評価とすること。
2 選考試験における教養検査は、任期付職員採用試験時に実施している者もあり、勤務状況を見れば再度受考する必要はないものと判断されるため、試験項目を省略するなど、受考者の負担を軽減すること。また、実施した場合でも教養検査のみで合格を判定しないこと。
3 職務経験のある貴重な人材を確保し、欠員が生じている職場への人員補充を確実に行うため、採用枠を拡大すること。

東北ろうきん

サマーキャンペーン2016

熊本地震復興支援

キャンペーン期間 6/1(水)~7/31(日)

店頭表示金利に金利上乘せ 年0.10%

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入れの方は店頭表示金利に年0.10%を上乗せします。

\*「新規預入れ」のみ、「増額預入れ」は対象外です。
\*窓口での預入れに限ります。
\*上乗せ金利は、「初回満期日」までとなります。
\*個人のお客様が対象となります。
\*「ふれ愛預金」「特別金利定期預金」等、一部対象外となる預金があります。

お客さまの預金が、復興支援につながります!!
上記キャンペーン定期預金にお預入れいただいた合計金額の0.1%相当額を東北ろうきんが熊本地震の被災地に寄付します。

\*この取組で、キャンペーン定期預金にお預入れいただいたお客様からの寄付金等の負担はありません。

下記対象取引のいずれかを ご契約・お申込みいただいた方に

スマートエマーゼンシーボトル (簡易防災グッズ)をもれなくプレゼント!!

(イメージ)

対象のお取引

- ① 定期預金(5万円以上の新規お預入れまたは増額書替え)
② 積立型預金(財形・エース預金)の年間積立額5万円以上の新規契約または3万円以上の増額契約
③ マイプランの新規ご契約
④ 無担保ローン(マイカーローン・無担保住宅ローン・教育ローン・フリーローン)の新規ご契約
⑤ 住宅ローンの新規お申込み

\*ATMやろうきんダイレクトでの取引も対象となります。(店頭でのお申し出が必要となります。)
\*キャンペーンのプレゼントは、個人のお客様が対象となります。
\*スマートエマーゼンシーボトルのプレゼントは「1お取引項目につきお一人様1つ」となります。
\*対象の商品概要については、店頭にて説明書をご用意しております。
\*詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。